



キラップ® フロアブル

うまい汁は吸わせない!!



オオトゲシラホシカメムシ



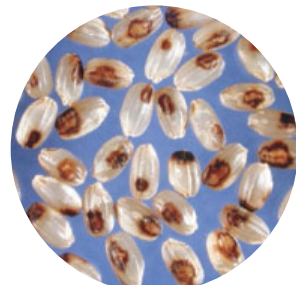
アカヒゲホソミドリカスミカメ



ミナミアオカメムシ



アカスジカスミカメ



カメムシ吸汁による斑点米

- 斑点米カメムシに高い殺虫効果を発揮します。
- カメムシ防除で米の等級を下げる斑点米の発生を抑制します。
- イナゴ類・イネドロオイムシにも高い効果を発揮します。





- 特長**
- 最近問題となっているアカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメなどカメムシ類に対して優れた効果を示します。また、イナゴ類・イネドロオイムシにも高い活性を示します。
 - 従来の散布剤とは作用性が異なりますので、他剤に感受性の低下した害虫にも効果が期待できます。

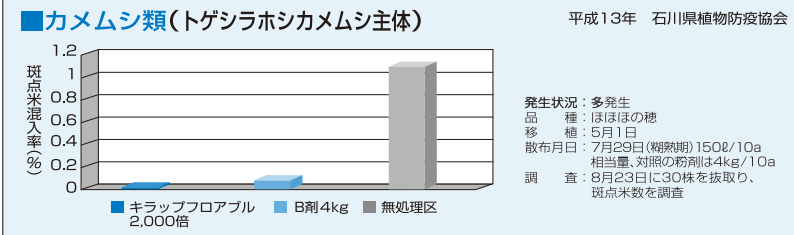
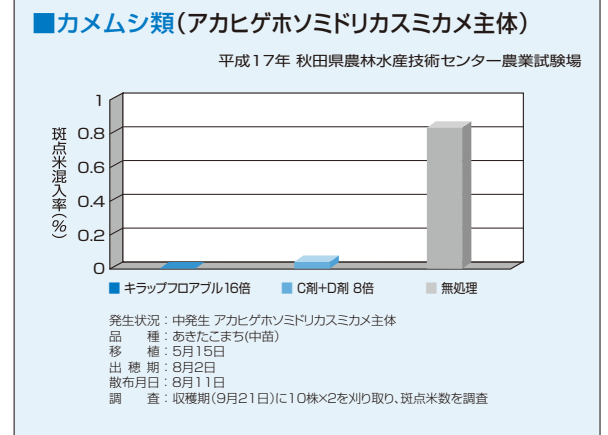
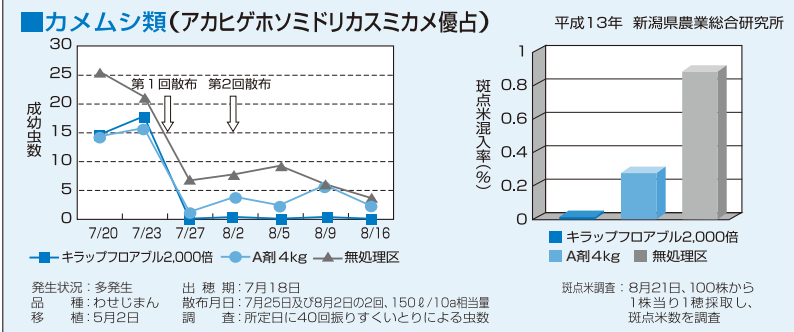
適用害虫の範囲および使用方法 [稲(育苗箱)、稲、だいず、えだまめ、水田作物、畑作物(休耕田)の抜粋] (2018年6月現在の登録)

作物名 []は適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り 使用液量(L)	使用時期*	使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	イネドロオイムシ	100~200	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り0.5ℓ	移植3日前 ~移植当日	本剤 1回 エチプロール 2回 (移植時までの処理は1回)	灌注
稲	イナゴ類	2,000	60~200	14日	2回 (は種時(直播) または 移植時までの 処理は1回)	散布
	イネドロオイムシ	16	0.8			無人ヘリコプターによる散布
	ウンカ類	500	25			散布
	カメムシ類	1,000~2,000	60~200			空中散布
だいず	カメムシ類	16	0.8	7日	2回	無人ヘリコプターによる散布
えだまめ		2,000	100~300	—		散布
水田作物 畑作物(休耕田) [ヨシオギ、ススキ、セタカアワダチソウ等 の多年生雑草が優占している休耕田]			60~200			

*印は収穫への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示します。 ※その他適用作物にかんざつ、りんご、かき、マンゴー、茶、があります。

上手な使い方

● アカヒゲホソミドリカスミカメに対しては、出穂の7~10日後及びその7~10日後が散布時期です。(各地で推奨されている散布時期に従ってご使用下さい。)



他剤との混用事例 (水稲での散布)

● 通常散布

殺虫剤：アプロード水和剤、アプロードフロアブル、トレボン乳剤、MR.ジョーカー-EW
殺菌剤：アミスター-Eイト、カスミン液剤、カスラバサイドゾル、カスラバリダゾル、ノンプラスフロアブル、バリダシン液剤、ビームゾル、フジワン乳剤、ブラシン水和剤、ブラシンフロアブル、ブラシバリダフロアブル、モンカットフロアブル、モンカット水和剤、モンゼレンフロアブル
殺虫殺菌剤：カスラバジョーカーゾル

● 少水量(25ℓ)散布

殺虫剤：アプロードフロアブル
殺菌剤：カスラバリダゾル、デラウスフロアブル、ノンプラスフロアブル、バリダシン液剤5、ビームゾル、ブラシンフロアブル、モンカットフロアブル、モンゼレンフロアブル

● 無人ヘリコプターによる散布

殺虫剤：MR.ジョーカー-EW
殺菌剤：アミスター-Eイト、カスミン液剤、カスミンバリダシン液剤、カスラバサイドゾル、カスラバリダゾル、デラウスフロアブル、ノンプラスフロアブル、バリダシンエア、ビームゾル、ブラシンゾル、ブラシバリダゾル、モンゼレンフロアブル
殺虫殺菌剤：カスラバジョーカーゾル

※上記薬剤は、キラップフロアブルとの混用によって、薬害が認められなかった組み合わせのものです。品種、栽培条件、気象条件、生育ステージなど条件が異なる場合があります。あくまでも混用の目安として下さい。

注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきって下さい。
- 本剤は貯蔵中に分離することがありますので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- 散布液量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節して下さい。
- 本剤を稲において希釈倍数500倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用して下さい。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布および空中散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。
 - 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。
 - 散布中、薬液漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
 - 散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与える恐れがあるなど、各分野に影響がありますので、散布区域内の諸物件に十分留意して下さい。
 - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散・流入しないように十分注意して下さい。
 - 散布終了後は次の項目を守って下さい。

- ① 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄して下さい。
- ② 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理して下さい。
- かんざつの施設栽培および着色始期以降での使用は、果実に薬害を生じる恐れがありますので使用しないで下さい。
- 蚕に対して影響がありますので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。桑にかかった場合には25日以上経過してから給桑して下さい。
- ミツバチに対して影響がありますので、以下のことに注意して下さい。
 - ミツバチの巣箱およびその周辺に近づかないようにして下さい。無人ヘリコプターによる散布および空中散布でそれらに飛散する恐れがある場合には使用しないで下さい。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用を避けて下さい。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropsience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00, 13:00~17:00
土・日・祝日を除く

(F-1070 18.06.IS)